

まちづくり交付金 事後評価シート(案)

河南地区

平成19年10月

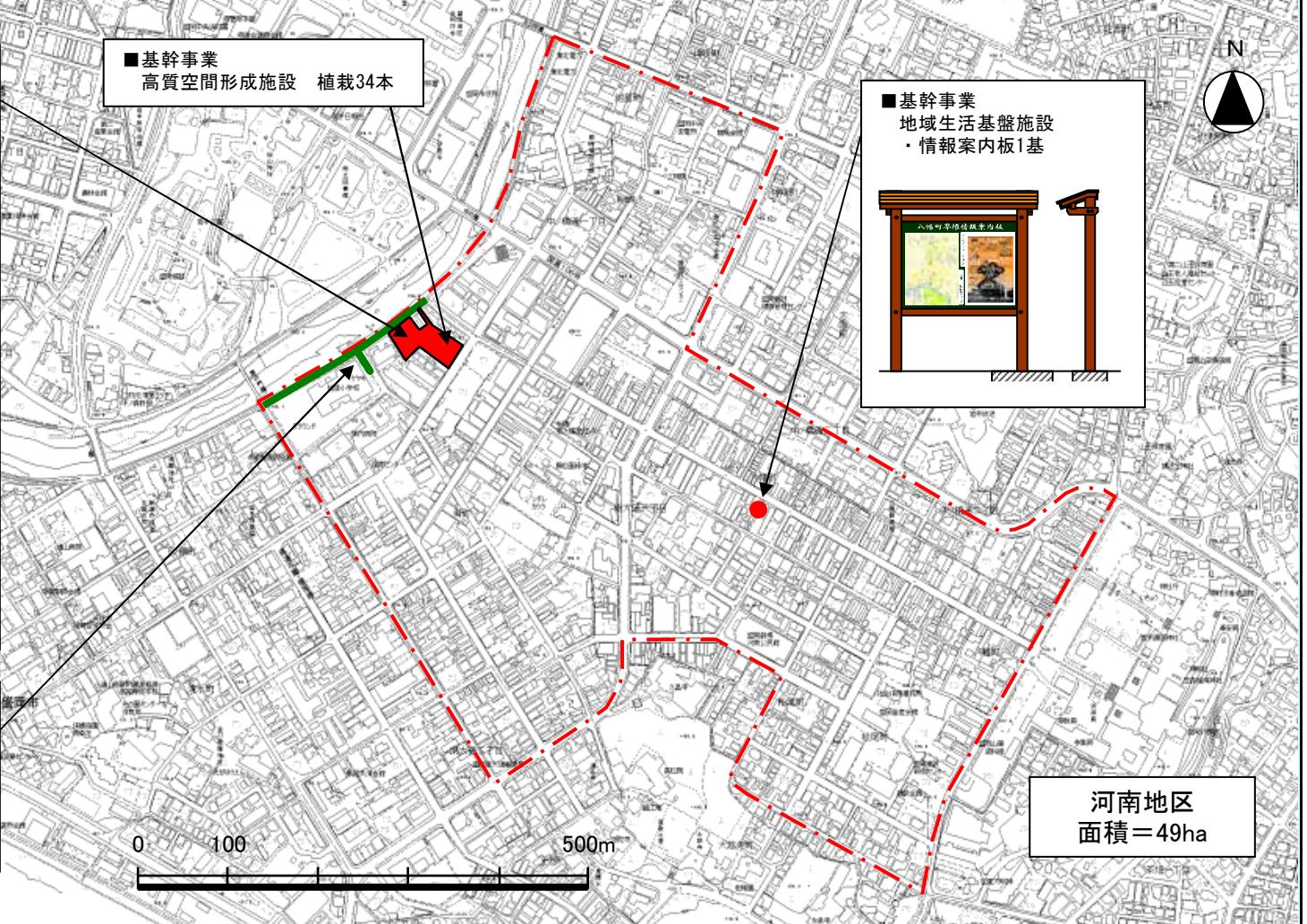
岩手県盛岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岩手県	市町村名	盛岡市	地区名	河南地区
計画期間	平成17年度～平成19年度	まちづくり交付金交付期間	平成17年度～平成19年度		
モニタリング実施時期		事後評価実施時期	平成19年4月～平成20年3月	フォローアップ実施時期	平成20年4月～平成21年6月

1)事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	肴町3番地区植栽整備事業							
	当初計画から変更した事業 (変更した内容)	味町3番地区優良建築物等整備事業(延床面積:約13,00m ² →約11,800m ²) ・情報案内板設置事業(位置及び箇所数:2箇所→1箇所) ・市道中ノ橋下ノ橋線コミュニティ道路整備事業(整備路線)							
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	味町3番地区優良建築物等整備事業:地権者数の減少により延床面積を変更(目標・数値指標への影響はなし) ・情報案内板設置事業:地元からの要望により位置及び箇所数を変更(目標・数値指標への影響はなし) ・市道中ノ橋下ノ橋線コミュニティ道路整備事業:関連事業の道路整備の時期と合わなくなつたことから、整備路線を変更(目標・数値指標への影響はなし)							
2)都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標			達成度		達成見込みの有無		効果発現要因	
	指標1	居住人口	6,000 → 6,500	単位	モニタリング [△]	事後評価 [×]	フォローアップ [○]	あり	なし
	指標2	来街者数	26,000 → 28,000	人/日				●	総合所見
	指標3	交通事故発生件数	50 → 35	件/年				●	そもそも地区内の居住人口の減少が居住人口の伸びにマイナスの影響を与えた。さらに、建設予定であったマンション1棟が交付期間内に完成が困難となつたため、予定していた居住人口のが増加が見込めなかつた。ただし、肴町3番地区再開発ビルの入居率は高く事業による効果は確認された。
	指標4	まちづくり勉強会	0 → 30	回				●	交付期間前及び交付期間中に市内の郊外部に大規模商業施設が相次いで開業し、中心市街地の商店街を利用していた買い物客が流出してしまつた。ただし、肴町商店街では各種イベントを実施するなどして、来街者の増加に取り組んでいる。
3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標			従前値		数値		効果発現要因	
	その他の数値指標1	肴町3番地区再開発ビルの入居率	%	単位	基準年度	モニタリング [—]	事後評価 ^{H16}	フォローアップ ⁹⁷	総合所見
	その他の数値指標2	もりおか啄木・賢治青春館の来館者数	年/人		51,611		H16		高齢者向けの住宅整備とそれに付随した福祉施設との共同化により、高齢者の家族を持つ者や老後を安心して暮らすこと考えている者の申し込みが相次ぎ、賃貸では待機者が出ていた状況にある。核家族化が進む中で、家族が同居できる機会を提供することで人気を博し、高い入居率となっている。
	その他の数値指標3								中津川河畔は修景やコミュニティ道路整備、観光案内整備を実施するなど、観光客の誘致に取り組んできたこともあり、もりおか啄木・賢治青春館の来館者が増加することになった。また、盛岡市全体の観光客数が増加する中で、河南地区的まちづくりの各種取組みがメディアなどに取り上げられ、来街者の増加に繋がっている。
4)定量的に表現できない定性的な効果発現状況	・コミュニティ道路整備により、八幡宮神社から盛岡城跡公園までの直線道路が繋がり統一されたまち並み景観の創出が図られた。								
5)実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		予定どおり実施できた 予定していなかったが実施した 予定したが実施しなかった・できなかつた						
	住民参加プロセス		予定どおり実施できた 予定していなかったが実施した 予定したが実施しなかった・できなかつた						
	持続的なまちづくり	専門家等の派遣による、関係者による勉強会の開催 ・福祉マンションの居住者と地区住民との交流を活発に行う。	●	予定どおり構築できた 予定していなかったが構築した 予定したが構築しなかった・できなかつた				・八幡町界隈まちづくりの会の維持・継続に注力する。 ・有プライトステージの福祉マンションの居住者と地区住民との交流会の維持・継続に注力する。	

様式2-2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

河南地区(岩手県盛岡市) まちづくり交付金の成果概要				
まちづくりの目標	生活環境の安全性、快適性、利便性の向上を図り、暮らしやすい都市の実現を目指す。	まちづくり交付金の代表的成果	着町3番地区再開発ビルの入居率 もりおか啄木・賢治青春館の来館者数 交通事故発生件数	一(H11) → 一(H16) → 97(H20) 一(H11) → 51,611(H16) → 51,953(H21) 44(H14) → 50(H16) → 20(H21)
■基幹事業 優良建築物等整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 施行者：盛岡着町三番地区再開発ビル建設協議会 敷地面積：2,436m² 延べ床面積：10,757m² 階数：地下1階地上10階建 用途：共同住宅 (分譲・賃貸マンション/戸数計56戸)，老人ホーム，通所介護施設，訪問介護施設，診療所，物販店舗，飲食店舗 	■基幹事業 高質空間形成施設 植栽34本		■基幹事業 地域生活基盤施設 ・情報案内板1基 
■基幹事業 高質空間形成施設 コミュニティ道路の整備 延長：240m カラー舗装				
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> 居住人口の増加 まちなか居住の促進を図る。 来街者数の増加 盛岡城跡公園や八幡宮などの観光資源や河南地区と周辺地区との連携を強化するとともに、地区の魅力を向上させるために、観光資源の有効活用や商店街の集客を高める取組を行っていく。 		